

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	音楽劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんにほんオペらしんこうかい 公益財団法人日本オペラ振興会	団体ウェブサイトURL https://www.jof.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 渡辺佳英	
制作団体所在地	〒 150-0001 最寄り駅(バス停) 東京都渋谷区神宮前4-3-15 東京セントラル表参道317号	
電話番号	03-6721-0995	
ふりがな 公演団体名	藤原歌劇団 藤原歌劇団	団体ウェブサイトURL https://www.jof.or.jp/
代表者職・氏名	総監督 折江忠道	
公演団体所在地	〒 215-0035 最寄り駅(バス停) 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1	
制作団体 設立年月	1981年3月	
制作団体組織	役職員 理事長 渡辺佳英 常務理事 折江忠道、郡愛子、 下八川共祐、中村恵一 外理事15名、監事2名 評議員 19名 事務局長 大野隆 職員 18名	団体構成員及び加入条件等 ○団体構成員(公演事業2部門) 藤原歌劇団(正団員468名、準団員553名) 日本オペラ協会(正会員199名、準会員137名) 両団体所属(244名) 計1,113名 ○加入条件 公募オーディション、歌手育成部修了 生より推薦。

事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担 当者を置く	本事業担当者名	垣生奈々保
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	福島久美子

制作団体沿革	<p>公益財団法人日本オペラ振興会は、藤原歌劇団と日本オペラ協会の統合合併により、昭和56年文部大臣の設立許可を受け「藤原歌劇団」「日本オペラ協会」の名称は法人組織内の公演事業部門として存続させている。藤原歌劇団は、昭和9年6月に故藤原義江により創立され、我が国初の本格的オペラ団体として今日まで公演活動を継続。日本初演を含む80作を超えるオペラをこれまでに上演しており、特にイタリアオペラを主軸とする公演路線は広く親しまれている。</p> <p>平成24年4月より公益財団法人日本オペラ振興会として認可された。</p> <p>平成27年4月より折江忠道が第4代総監督に就任している。</p> <p>年間3～4本の本公演を実施しており、令和2年度はコロナ禍において初のオペラ公演となる「カルメン」を8月に上演したほか、年明け1月には「フィガロの結婚」「ラ・ボエーム」、翌2月には沖縄を舞台とした「キジムナー時を翔ける」を上演し、いずれも好評を博した。</p>		
学校等における 公演実績	<p>学校等における 公演実績 学校等における公演実績</p> <p>平成12年～平成23年文化庁学校公演オペラ「カルメン」 129公演</p> <p>平成24年～平成26年文化庁学校公演オペラ「魔笛」 37公演</p> <p>平成25年6月 潤徳女子高校・中学校 藤原歌劇団合唱コンサート</p> <p>平成28年5月 昭和女子大学鑑賞公演オペラ「椿姫」</p> <p>平成28年7月 日本女子大学附属高等学校鑑賞教室「カルメン」ハイライト 等</p> <p>平成29年6月 潤徳女子高校藤原歌劇団合唱コンサート</p> <p>平成30年11～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 18公演</p> <p>令和元年11～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 13公演</p> <p>令和2年10～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 5公演</p> <p>令和3年5月 昭和女子大学鑑賞公演オペラ「蝶々夫人」</p> <p>令和3年12～令和4年1月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 6公演</p>		
特別支援学校等における 公演実績	<p>特別支援学校における公演実績</p> <p>平成25年 9月 栃木県立足利中高特別支援学校(文化庁次代を担う子供の舞台芸術体験事業)</p> <p>平成30年 11月 千葉県立野田特別支援学校(文化芸術による子供の育成事業)</p>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=2h4Kh6ec2d4&t=756s	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

藤原歌劇団

】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」全1幕 日本語上演			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」全1幕 日本語上演 作曲/台本:ジャン・カルロ・メノッティ(Gian Carlo Menotti) 演出:岩田達宗 美術:島次郎 衣裳:増田恵美 照明:稲葉直人 振付:鷺田実土里 音響:寺部和貴			
	公演時間 90 分			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	助けて、助けて、宇宙人がやってきた
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済
許諾者名	フジパシフィック音楽出版			
演目概要	オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやってきた！」 ジャン・カルロ・メノッティ(Gian Carlo Menotti)作曲 全1幕日本語上演 ～あらすじ～ 謎の宇宙人、グロボリンクスが地球へやって来た！ 子ども達は春休みが終わり、スクールバスで学校へ向かう途中、突然バスが故障し、止まってしまふ。そこへ、グロボリンクスが現れ、子ども達は大騒ぎ！運転手のトニーはバス警笛を鳴らしエイリアンを追っ払う。トニーは、グロボリンクスが“アコースティックの音楽”に弱いことを知り、子ども達に楽器を持っているか尋ねる。そんな中、一人だけヴァイオリンを持っていたエミリーは、「私がゆくわ！」と学校へ助けを求めに向かう…。一方学校では、子ども達が来ない、と校長のストーン先生は心配でたまらない。音楽のユタボーバ先生は、子ども達が春休みに楽器を持って帰らなかったとストーン先生に嘆いている。そこに、グロボリンクスが現れ校長先生が襲われてしまふ。先生達は楽器を鳴らし何とかグロボリンクスを撃退する。先生達はそれぞれ楽器を持ち、帰ってこない子ども達を迎えに行く。さて、子ども達は、先生達は、エミリーは、一体どうなってしまうのか？			
演目選択理由	当団はアメリカの作曲家ジャン・カルロ・メノッティとの縁が非常に深く、1974年にはメノッティ本人を我が国へ招聘し、彼自身の演出により「領事」「電話」「霊媒」といった演目を、藤原歌劇団の本公演で上演し、成果を挙げて参りました。「助けて、助けて宇宙人がやってきた」は1985年から2年間「文化庁青少年芸術劇場公演」に採択され、地方10か所以上で上演し、多くの学生・児童に鑑賞して頂きました。その公演は、栗國安彦の演出による、ホールでの大規模上演でした。本公演は、藤原歌劇団が協力し、多数の所属歌手が出演した2017年11月東京文化会館主催公演のプロダクションにより、平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」において学校公演を行いました。この作品は、学校が舞台であり子供たちに臨場感のある題材であることから「文化芸術による子供の育成事業」に相応しい演目だと確信しております。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	学校が舞台となっているこの作品では、実際の生徒や宇宙人に扮して、プロのオペラ歌手やダンサーと共演することができます。 -児童、生徒の参加内容は- ・合唱①:学校の生徒役子ども達10人以内 ・合唱②:みんなで校歌を歌って参加(人数上限なし) ・合唱③:学校の生徒役の子ども達10人以内 ・ダンス①:宇宙人役(宇宙人襲来)8人 ・ダンス②:宇宙人役(宇宙人喜びの踊り)8人 ・ダンス③:宇宙人役(エミリーと友達になりたい宇宙人)8人 ワークショップにて、指揮者、ピアニストによる歌の練習、振り付けによるダンスの練習や動きの練習、演出助手による演技の稽古を実施します。本番では、キャストと一緒に出演して頂きます。			
出演者	指揮:仲田淳也/中橋健太郎左衛門 エミリー:中畑有美子/山邊聖美 音楽の先生:佐藤美枝子/別府美沙子 校長先生:折江忠道/持木弘 バスの運転手:岡昭宏/大石洋史 学校の門番:市川和彦/山内政幸 算数の先生:牧野真由美/松原広美 国語の先生:和下田大典/市川有一郎 理科の先生:龍進一郎/岡山肇 アナウンサー:柴山秀明 生徒:安藤千尋/伊藤香織/加藤美帆/芝野遥香/中桐かなえ グロボリンクス(ダンサー):鷺田実土里/上原彩弥/光延真鈴 ピアノ:1名 ヴァイオリン:1名 計20人			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 20 名 スタッフ: 19 名 合計: 39 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 10 m 台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時30分～9時	9時～12時		13時30分～15時	10分	15時～16時30分	16時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
					10日	
	11月	12月	1月	計	25日	
	15日					

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10人～30人位
		鑑賞人数目安	1,000人以内



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 藤原歌劇団 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	10人～30人程度
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>児童、生徒の参加内容は、①学校の生徒役の子ども達10人～20人②宇宙人グロボリンクス役8人程度の子ども達が出演します。</p> <p>①学校の生徒役の子ども達は先生達と一緒にスクールバスの子ども達を助けに行くところで参加しますが、先ず指揮者、ピアニストによる歌唱の練習を30分程度行い、続いて演出助手による演技の立ち稽古を実施します。子供たちの歌や演技がグロボリンクスを退治できるという気持ちを込めて繰り返し練習し本番に備えます。</p> <p>②宇宙人グロボリンクス役は宇宙人登場シーンで演技者として出演をします。振り付けの先生に動きを付けてもらいながら、宇宙人の動きを身に着け、重要な演技を体得してゆきます。</p> <p>その他に宇宙人が襲来したシーンで生の音楽が宇宙人が苦手だと知り、全校生徒で学校の校歌を歌って宇宙人を追い払おうとします。そのシーンの説明もワークショップで行います。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>10人～20人の子ども達役は歌いながら演技をする、いわゆるオペラの体験を実際に体得できるよう繰り返し練習して覚えていただきます。</p> <p>グロボリンクス役は宇宙人の特殊な衣裳を着てダンスをします。振り付けの先生から指導を受けます。躍動感のあるダンスを指導します。全体としては一つのオペラ作品を創り上げる過程を感じることができるよう、楽しみながら歌や演技を体得できるよう指導します。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等			